

大分県情報サービス産業協会 平成13年度総会開催

記念講演

NHK大分放送局局長 加納 民夫氏

大分県情報サービス産業協会平成13年度通常総会が4月24日午後3時から、大分市内ソフトパークの大分第二ソフィアプラザビル2階ソフィアホールで開催された。司会は土居勝英総務委員長。

郷司潔会長がまず挨拶し、「当情報サービス産業協会はサービス業に分類されているが、実際はシステムを作る製造業であり、どこにも負けない人材と技術を持つことが大切」と前置きしたうえで、「企業や売上げの大半は東京など大都市に集中している。地方の実力を上げるためには、会員企業が今まで以上に情報交換や相互研鑽に努めなければならない。」と述べた。

続いて、来賓の二宮滋夫大分県商工労働観光部長から祝辞を受けた。

議事に入り、平成12年度の活動実績報告、収支決算承認に続いて、平成13年度の協会活動方針、各委員会の事業計画、収支予算などを議決した。続いて、協会役員の新任期満了に伴う役員改選が行われた。

会長には、ひきつづき郷司潔氏、副会長に大場善次郎氏、理事に小野敬一、今坂宏行、吉本安宏、畑俊弘（以上重任）、荒城英世（新任）の各氏、監事に後藤英治、土居勝英（ともに重任）の各氏が選任された。

総会に引き続いて、NHK大分放送局局長加納民夫氏の「私の仕事よもやま話」と題した記念講演が催された。

そのあと恒例の懇親パーティがあり、秋月睦男顧問の乾杯に始まり、1時間余にわたる和やかな歓談の後、(社)大分県産業創造機構の曾根崎和人専務理事の万歳三唱で閉会した。



郷司会長挨拶



二宮大分県商工労働観光部長祝辞



総会風景

平成13年度収支予算 (単位:千円)

科目	平成13年度 予算額	平成12年度 決算額	増減
収入の部			
会費等収入	2,270	2,270	0
事業収入	3,000	3,737	△737
補助金等収入	920	920	0
雑収入	2	1	1
前年度繰越金	2,493	1,581	912
合計	8,685	8,509	176
支出の部			
管理費	600	473	127
事業費	6,070	5,542	528
予備費	120	0	120
合計	6,790	6,015	775
翌年度へ繰越 (うち積立金)	1,895 (1,300)	2,494 (1,300)	△599 (0)



懇親会風景

1. 地域および関係機関との交流と連携を深めるとともに、行政のIT諸施策への貢献をめざす。
2. 委員会活動の充実をはかり、高度情報化社会に対応する魅力ある事業を推進する。
3. 会員相互の情報交換と啓蒙活動を推進する。

総務委員会

委員長 土居 勝英
(㈱日出ハイテック常務取締役)

副委員長 野尻 健
(大分中央電算㈱部長)

事務局 上杉 勝
(九州東芝エンジニアリング㈱部長)

I. 事業方針

- (1) 協会の事業力強化と活性化を図るための諸施策を推進する。
- (2) 会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。

II. 事業計画

- (1) 次の協会定例行事の企画・開催
 - イ 4月 通常総会・講演会
 - ロ 9月 ボウリング大会
 - ハ 11月 親睦ゴルフ大会
 - ニ 1月 新年会・講演会
- (2) 行政、情報産業団体との交流
 - イ 協会行事を通じて、行政の政策担当者等との接触・交流を行う。
 - ロ 他県の情報サービス協会の事業活動を収集し、参考にする。
- (3) 会員拡大
 - 協会の体力強化のため、会員の協力を得て会員拡大を図る。

企画委員会

委員長 佐藤 誠樹
(㈱エイビス取締役部長)

副委員長 山村 耕造
(太平工業㈱マネジャー)

事務局 上杉 浩司
(大分交通㈱次長)

I. 事業方針

平成13年度の協会活動方針に沿い、委員会活動の充実と強化および会員相互の理解と協力をより一層深めることを目的とし、以下の委員会活動を展開する。

II. 事業計画

- (1) 先進地域ならびに先進企業への視察研修、および他県の協会運営状況調査(年2回程度実施)
- (2) 行政との交流推進
 - 行政の情報化計画の調査(説明会、講演会等の企画)

イベント委員会

委員長 築城 敏治
(㈱築城ソフト研究所代表取締役社長)

副委員長 中川 雅裕
(㈱スリーエイ・システム次長)

事務局 酒井 忠司
(ゴードービジネスマシン㈱次長)

I. 事業方針

イベント委員会は、委員会活動を通じて当協会の存在を広く世間にアピールすることを主な方針とする。

- (1) 10年目を迎えるサウンズコンテストの充実を図る。
- (2) サウンズコンテストの開催を通じ、マスコミやネットメディアなどに積極的に広報し、当協会の存在や会員企業の知名度アップを図る。

II. 事業計画

サウンズコンテストの開催

- (1) ITを利用して応募・集客に工夫する。
- (2) メールを利用して委員会内の情報交流を密にして活動の充実を図る。

研修委員会

委員長 久米 俊行
(㈱日産物流コンピュータシステム大分常任顧問)

副委員長 丸井 彰
(鶴崎海陸運輸㈱部長)

事務局 山田 晃正
(新日鐵ソリューションズ㈱グループリーダー)

I. 事業方針

(1) 研修事業のあり方は協会会員企業の要望、必要性を十分に反映して行く。

(2) 平成13年度協会活動方針に則り、地域社会への貢献、開かれた協会活動に寄与する委員会活動を推進する。

(3) 他委員会との合議を積極的に進め、行政との連携も視野に委員会活動の活性化を図る。

II. 事業計画

事業計画の具体化には会員企業の意見を反映し、ニーズの高い研修内容を企画する。

- (1) 会員企業の技術者向けに専門技術あるいは先端技術に関する講座等を企画する。
- (2) 行政との十分な協力体制をもとに、地域に開かれた研修活動を企画する。
- (3) その他、会員の要望に応じた事業を企画する。

広報委員会

委員長 野村 勲治
(㈱アトムス事務器取締役部長)

副委員長 筒井 健爾
(KCS大分情報専門学校校長)

事務局 吉本 安宏
(大観コンピュータサービス㈱代表取締役会長)

I. 事業方針

協会活動方針に従い、下記に関する活動を企画・実施し、情報社会への貢献を目指す。

- (1) 最新技術動向に関する知識の普及
- (2) 情報処理技術に関する技術の向上

II. 事業計画

- (1) 技術交流会の開催について
 - 業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招き、技術交流会を開催する。
- (2) 技術研究会の開催について
 - 会員が抱える共通の技術問題や課題について技術研究会を開催する。内容は、インターネットをキーワードとして、これからの情報技術や開発方法等について研究し、成果発表会を行う。

広報委員会

委員長 野村 勲治
(㈱アトムス事務器取締役部長)

副委員長 筒井 健爾
(KCS大分情報専門学校校長)

事務局 吉本 安宏
(大観コンピュータサービス㈱代表取締役会長)

I. 事業方針

- (1) 協会活動の内外へのPR
- (2) リクルート情報活動等
 - 等を主体にした事業を展開し、当協会全体の活性化を図る。

II. 事業計画

- (1) 協会報の発行
 - イ 年間3回を原則として、協会活動および情報等の発信を行う。
 - ロ 会員募集のPRを協会ニュースで積極的に行う。
- (2) 部外広報
 - 協会のPRを目的として、報道機関等への情報提供に努める。
- (3) リクルート情報活動(新卒採用対策、Uターン対策)
 - イ 行政機関等へ協会ニュースの配布依頼を行う。
 - ロ 必要に応じて、協会報を利用した会員企業の紹介等を行う。

ベンダー資格取得カリキュラムをスタート 即戦力の人材を育成するKCS

本校はベンダー資格取得カリキュラムを設置、IT時代に対応できるマイクロソフトMCPおよびオラクルマスター技術者を育成しています。

- ◆ マイクロソフト認定アカデミックトレーニングセンター
- ◆ オラクル・データベース・アカデミー提携校
- ◆ マイクロソフトキャンパスアグリーメント契約校

KCS大分情報専門学校

北海道情報大学 大分教育センター

〒870-0037 大分市東春日町17-19 TEL (097) 537-3911 FAX (097) 532-7939
URL: <http://www.kcsorbita.ac.jp> E-mail: info@kcsorbita.ac.jp

平成12年度 第2回視察研修会 地球に優しい エコタウンへ

平成13年3月6日、北九州市若松区のエコタウンを視察した。

視察した企業等は、西日本オートリサイクル(株)、西日本家電リサイクル(株)、都市ゴミ生分解性プラスチック化仮設実証実験所の3カ所である。

西日本オートリサイクル(株)は、吉川工業(株)が中心となって設立した廃車解体会社である。平成11年1月11日に設立され、同年11月に工場が完成、平成12年2月9日に竣工式が行われた。

全国では年間500万台が廃車となり、内50万台は輸出されるそうで、残りの450万台が、解体業者によって処理される。

西日本オートリサイクル(株)の特長は三つある。

第一は、シュレッダー処理を行わないことである。車は最終的には、①60cm×70cmの鉄の立方体のスクラップ②ミックスメタル(非鉄金属)③シュレッダーダスト(ガラス・プラスチックおよび鉛・カドミウム等の有毒物質)に分けられる。①、②がリサイクルされるのは当然だが、西日本オートリサイクル(株)の特長は、ガラスのリサイクルに取り組んでいることにある。

第二は、徹底した資源リサイクルに取り組んでいることにある。

ガラスのリサイクルに加え、樹脂類のリサイクル方法の検討を進め、現在80%のリサイクル率を2005年には95%にしたいという。ただ、車の燃費と居住性の向上を図れば図るほどダストが増えることとなるのが悩みとのことであった。

第三は、厳正な適正処理による環境保全の実現を目指していることである。

鉛やフロンの徹底回収に努め、地域社会から信頼・安心・理解される会社を目指している。

1台の解体には50分を要し、1日45台～



50台、月間1,000台の処理能力があるという。工場は整然と整理され、3Kのイメージは全くなかった。

西日本家電リサイクル(株)は本年4月より施行される、いわゆる「家電リサイクル法」に対応するために設立された会社であり、現在は仮操業中であり、4月から本格操業することとしている。

西日本家電リサイクル(株)は、東芝・松下・日立・三菱・シャープ・サンヨー・富士通ゼネラル・ソニーの家電メーカー8社が出資して設立された会社である。

リサイクル対象商品は、テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫の4家電であり、2001年度は、福岡・佐賀・長崎・大分・山口5県を対象に、年間25万台を処理する予定である。処理量については、2003年度には2交替を導入し、50万台の予定である。

商品別のリサイクル目標は、エアコンが60%、テレビが55%、洗濯機と冷蔵庫が50%としている。

フロンについては、総て回収して分解し、無害な「ほたる石」にしている。

最後に訪問した、都市ゴミ生分解性プラスチック化仮設実証実験所は、九州工業大学情報工学部白井研究室が中心になって、米・パンなど炭水化物から生分解性プラスチック(土の中に埋めれば10ヵ月で土に戻る)を作

る研究を行っている。

まず、米・パンなどの炭水化物を消費することにより、乳酸を作り出す。そして、その乳酸を液と滓に分離した後、乳酸液をエステル化を伴う蒸留を行うことにより、生分解性プラスチックを作り出すというものであった。なお、滓は土壌改良剤にするとのこと。

本件の問題点は、生ゴミを更にどのようにして、米・パンとそれ以外に分別するかにあるように思われた。

以下に3カ所を視察した感想を述べたい。

日本の自家用車は、概ね7年2ヵ月で買い換えられるというが、廃車500万台の内、50万台は輸出されるのであれば、買い換えの周期を延ばすことも必要だろう。

また、リサイクル対象の家電4商品は、我が家に揃えられたのは昭和33年以降(エアコンは40年代後半)であり、便利さを追求する人間の欲望も、そろそろ見直すべき時に来ていることを強く感じた。

生分解性プラスチックについては、米・パンが生ゴミとして捨てられることを前提にした研究であり、そもそも米やパンが捨てられることをおかしいと思わなくなった我々の心のあり様についても反省すべきであると感じた。今回の視察を通じ、これからの生活様式のあり方について、大いに考えさせられた。

(NTT大分支店 小池貞夫)

(尚、小池支店長は7月1日付で東日本電信電話(株)企画部担当部長へご栄転されました。)



新入会員紹介

今後ともよろしくお願いたします。

梅ザイナス

代表取締役 江藤 稔明
 設立年月日 平成12年5月1日
 事業内容 ソフトウェア開発
 土木建設業パッケージソフトの
 開発・販売
 従業員 17名
 所在地 大分市日吉町2番19号
 電話番号 (097)573-1700
 FAX番号 (097)573-1701
 所属委員会 イベント委員会



江藤 稔明氏

メルハンコンピュータシステム

代表取締役 伊藤 一士
 設立年月日 昭和56年7月7日
 事業内容 企業・団体へのITソリューション
 の提案、システム開発・パッケージ
 導入サービス、システム保守サービス
 従業員 24名
 所在地 大分市萩原2-2-35
 電話番号 (097)551-4557
 FAX番号 (097)551-4163
 所属委員会 総務委員会



伊藤 一士氏

System Age は21世紀、躍進のパートナー

グローバルな視野から部分を構成していくという、新しい総合論の時代「システム・エイジ(System Age)」。この概念を社名に取り入れ、システムの調査・分析からソフト開発、維持管理、コンピュータ・コンサルティングまで業務革新・高度化を目指すお客様の力強いパートナーとして、新しい時代への幕開けを少しでも手伝いたいと考えています。

システムエイジ株式会社
 〒870-0037 大分市中島中央1-4-30 TEL.097-537-0818 FAX.097-537-0992

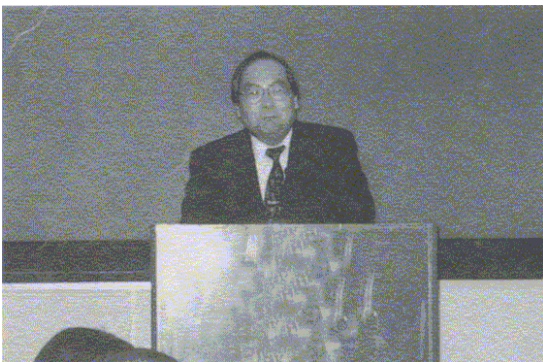
平成13年度総会記念講演

日時：平成13年4月24日
 場所：第2ソフィアプラザビル2階
 講師：NHK大分放送局
 局長 加納民夫氏
 演題：「私の仕事よもやま話」

NHK大分放送局は昭和16年6月2日に放送開始しておりまして今年で60年ということになります。当初ラジオ放送で始めました。昨年は12月にBSデジタル放送が始まりまして新しい型の放送がスタートしました。今世紀はデジタル世紀ということで放送と通信の世界が融合していくことでしょう。

ところで、私は昭和45年に入局しまして、芸能局洋楽番組班に配属されました。そこで「NHKコンサートホール」、「芸術劇場」、「N響アワー」、「名曲アルバム」等、一貫してクラシック音楽関連のテレビ番組、ラジオ番組の制作、演出を担当しました。

また、昭和51年から5年間、黒柳徹子と



芥川也寸志司会の「音楽の広場」（スタジオ番組）を演出。その中の1番組で、香りとハーモニーの関係を実験した番組で、19世紀にフランスの調香師でピエスという人物が香料をグループに分けて音階にしました。例えば、「ド」→バラの香り、オクターブ上の「ド」→ジャスミンの香りを合わせると春の香りがして、香りも音もハーモニーがよかったです。また、「ド」→バラの香りと「シ」→ペパーミントを合わせると音としてのハーモニーにならないのですが、香りとしては黒柳さんが言うには、トイレの臭いがするそうです。

話しかわって、絶対音感という言葉があります。これは、ピアノの音を叩いて鍵盤を見ないで何の音か解ることです。それに対して、ある音を聞かせて、これは「ラ」の音です。それではこの音は何ですか。というのが解ることを相対音感といいます。例えば、電話117番の時報は「ラ・ラ・ラ・ラ」最後のラはオクターブ上、救急車のサイレンの音は「シ」と「ソ」です。でも、絶対音感と楽器の才能は関係ありませんが、ある話で、モーツァルトが先輩のコンサートを聴きに行き、帰って全部自分で楽譜に書いたという逸話があります。

また、平成3年にロシアのサンクトペテルブルクのキエロフ・オペラハウスでムソルグスキーの歌劇「ホヴァンシチナ」、チャイコフスキーの歌劇「スペードの女王」を世界各国と共同でハイビジョン制作しましたが、

新理事紹介

略歴書

本籍 大分県豊後高田市大字
 真中1832番地
 現住所 大分市寒田南町
 4丁目9番10号
 フラジヒデヨ
 荒城英世
 昭和29年4月4日生
 (47才)



学歴
 昭和48年3月 大分県立中津南高等学校卒業
 昭和53年3月 大分大学工学部卒業

職歴
 昭和53年4月 株式会社日本トラフィックコンピュータ入社
 昭和57年3月 同社 退社
 昭和57年9月 日鉄コンピュータシステム株式会社
 (現 新日鉄ソリューションズ株)入社
 平成7年3月 同社 退社
 平成7年4月 大分交通株式会社入社
 OAシステム販売部主幹
 平成10年4月 同社 企画開発部マルチメディア事業課長
 兼OAシステム販売部主幹
 平成11年6月 同社 OAシステム販売部長
 兼企画開発部マルチメディア事業課長
 平成12年6月 同社 情報通信営業部長(現職)

このとき、日本、ロシア、オランダ、イギリス、フランス、アメリカの6カ国の混成チームで、その中心的役割としてNHKがプロデュースをやりまして私も1ヵ月程現地で仕事をしました。

以上のように音楽番組を専門としたお仕事を現場での体験談をまじえながら1時間余り話されました。

フレッシュさん紹介 今後ともよろしくお願いたします。

株式会社エイビス

高石 幹一朗
 趣味

音楽鑑賞、スポーツ
 観戦、カラオケ
 私の好きな言葉
 マイペース



東京営業所に勤務してから1年半が経過。赴任当時、PG開発に対するある程度の自信は、知識不足と経験不足から脆くも崩れ去りました。また初めての一人暮らしと相まって、不安な日が続きました。気が短い自分の性格と葛藤しながらも、最終的には「どげかなるんじや。自分なりに作業すりゃいいわい。」と開き直ったのを思い出します。現在、「環境システム」の開発をメインで行っています。赴任当時よりはマシになったとはいえ相変わらずのあせりまくりの電話サポートやパタパタしたPG開発作業の連続です。しかし、自分が作成したシステムが多くのお客様に使っていただいていることの喜びと、責任感で、緊張しながらも充実した日々を送っています。せっかく仕事を行うのであれば楽しくやりたいというのが今後の目標です。1日1日を大切に一人前の社員に、そして社会人になるべく頑張ります。・・・ところで僕はいつ大分に戻れるのだろうか???

株式会社エス・シー・エス

花宮 志野
 趣味

ドライブ、おでかけ
 私の好きな言葉
 のほほん
 私の抱負



私は、今年の4月に エス・シー・エスに入社いたしました。1ヵ月間の研修後、現在の勤務についています。勤務につく以前は、大変不安でしたが、上司や先輩社員の方々のアドバイスなどにより職場環境にも慣れ、なんとか仕事をさせていただいています。毎日学ぶことが多いですが、自分が知らない新しい知識を身につけていくことは楽しいです。

これから前向きに、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。また早く会社に必要とされる「人財」となる為にも頑張りたいです。

株式会社ウィルウェイ

工藤 豪
 趣味

ドライブ
 私の好きな言葉
 向上心



専門学校を卒業後、弊社に入社。人当たりもよく、すぐに客先にも溶け込んで、進んで仕事をこなしてくれている。

入社当時に比べ、1年たった今は、大変成長したように感じる。

入社当初から、かなり過酷な環境(肉体的にも精神的にも)の中で一所懸命に最後までやりぬいたことが、本人の自信になっているようだ。

弊社の社是である、「意思あるところに、道はひらける」の言葉どおり、これからも未知のことにどんどん挑戦して欲しい。

(紹介者 ウィルウェイ佐藤社長)

OISA News

2001. 7. 2発行

発行：大分県情報サービス産業協会

会長 郷司 潔

編集：広報委員会

事務局 大分市城崎町2-6-31

(大銀コンピュータサービス(株)内)

TEL(097)537-5918

FAX(097)534-4545

印刷：佐伯印刷株式会社

お詫び

前回のOISAニュースの中でKCS大分情報専門学校様の広告紙面に誤りがありましたことを訂正しお詫び申し上げます。

東芝OA機器・イトーキビジネス製品

理想のオフィスを追求し続ける

アトムス事務器

本社 〒870-0017 大分市井天2丁目4-36 電話(097)537-4531 FAX536-5023

福岡支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5-11 電話(092)725-7211 FAX725-7233

URL: <http://www.atoms.co.jp>